

# 守山まるごと活性化 議事要旨

作成日: 2月1日

作成者: 田中宏紀

会議名: 平成27年度 第三回Aプロジェクト(諏訪屋敷プロジェクト)会議

日時: 平成28年1月29日(金)

場所: 玉津会館 会議室1

出席者: 谷口喜久、石原美登里、酒井信次、村瀬幸子、安井宣道、安井澄子、藤田康彦、舟木満、岡本美佐子、荒木稔雄、田中久夫、佐藤志歩

出席者(行政): <玉津会館> 田中主事 <守山市役所> 文化財保護課: 畑本課長、福島主任

使用資料:

## 議題

1. 大庄屋諏訪屋敷保存整備事業 取り組み経過等について
2. 平成27年度 諏訪屋敷プロジェクトの活動報告について
3. 平成28年度 諏訪屋敷プロジェクトの活動計画について

## 会議要旨

### 内容

1. 諏訪屋敷の整備事業について、これまでの取り組みと今後の計画について、守山市文化財保護課より説明。

- ・今後2年間での整備を計画。
- ・屋敷とともに庭も含めた整備をお願いする。(メンバーの意見)

2. 平成27年度諏訪屋敷プロジェクトの活動報告

①プロジェクトメンバーについて

- ・発足当時からメンバーは増加。今後も多くの学区の方に加わっていただきたい。

②平成27年度決算見込

- ・別紙のとおり

③諏訪屋敷プロジェクト活動実績

- ・プロジェクト全体では菜の花まつり、諏訪まつり等のイベントを実施。語り部部会において、玉津の昔話を発表。歴史散策部会は、「玉津学区歴史散策マップ」を作成、また自転車スタンプラリーを実施。小菊専門部会は、諏訪まつりにおいて小菊展示会。詳細は別紙のとおり

3. 今年度の反省および次年度に向けて

【諏訪まつりについて】

①来場者数が前回と比べ減少している(1,300名→1,100名)。

- 団体客が少なかったことが影響しているのではないか。

②まつりの目玉となるもの、前年度との差異化を図り、集客の拡大が必要である。

- ・食に関するコーナーの充実(おにぎりの試食、など)。
- ・会場のデザイン、色彩等の工夫。
- ・宣伝、PRに対し、より予算や労力をかける。
- ・子どもを呼び込む内容(風船アート、クラフトコーナー等、子どもの興味を引くもの。また、小学生による発表、展示物があれば、家族による参加も見込める)。
- ・参加・体験型の項目を増やす(昔の衣服の着衣体験、締縄づくり、など)。

(裏面に続く)

## 決定事項

次回以降について

本会議での反省・検討事項を専門部会単位で協議し、来年度の具体的な活動の計画をたてる

## 会議要旨

### 内容

- ・地域の人から提供いただいた人形の展示会を開催。
- ③来年度に向け検討・改善すべき点
  - ・自転車スタンプラリーについて、参加者(14名)に対し、自転車の運搬等の労力が大きい。  
→プロジェクトで自転車を買ひ、常駐してみてもどうか。
  - ・「玉津文化の歴史ウォーク」に「ハロウィン」の記載は控えたほうがよい。
  - ・諏訪まつりの開催時期、期間について、今年度と同様にすべきか。  
→諏訪まつりが菊の展示会から始まったことを考え、菊の開花時期に合わせたい。  
→諏訪屋敷の工事との兼ね合いも含め、今後調整を図る。  
→開催期間(2日間)については、特に意見は出ず。
- 【語り部専門部会について】
  - ・諏訪まつりにおける発表は大成功だった。  
→発表時間として、合計30分は丁度よかった。
  - ・語り部部会員によるガイドとしての活動を検討。  
→場所、期間を限定してすべき。
- 【歴史散策専門部会について】
  - ・「玉津学区歴史散策マップ」を市内施設に配布。  
→当パンフレットを持って学区内のお店に道を尋ねる方がいる。  
→マップを持って歩く上でわかりやすくできるようにしたい(案内板作成、など)。
- 【小菊専門部会について】
  - ・次年度に向けメンバーの拡大を図る必要がある。  
→諏訪まつり小菊展において、小菊の展示物の多くが講師によるものである現状。  
→広報紙等を利用し、部会員の募集を呼びかける。